往生

今こそ臨終というときに

私はこのあとどこへ行くのかね？

と訊いたばあちゃんがいたそうです

のんびりしたはなしやね

それが日ごろお念仏称えていたばあちゃんというので

考えさせられた

その上訊かれた人がなんて言ったかというと

アンタはこれまでたくさん聞いて来たのだから

分っているやろって冷たい返事

お念仏喜んでいる風の人だっただけに

聞き過ごすことができない

しかしばあちゃんが

あの世に往き着かず戻ってきたとは聞かないから

あの世に往き着いているはず

成仏してるかどうかはわからないけれど

果てしない宇宙の暗闇の果てで迷子になっている

そういう先生（大峯顕先生）もおられますからね

お寺が何も教えなかったと恨み事言われても困るから

ここで言っておこう

親鸞聖人は

念仏成仏是真宗

とおっしゃっています

これは死ぬときでなく生きているときのことよ

しかしながら

お念仏称えたから成仏するとはかぎりません

称えるのは簡単親しみやすい

往生となると難しいで

「往生というのは心の往生、

成仏というのは身の往生である」

とおっしゃる先生（曽我量深先生）もおられたとか

身と心と分けてある

死んだら身は火葬されて灰になるからはっきりしてる

心は形が無いからどうなるの？

往生とはどうなること？

そんなこと分からなくても

ちゃんと死んで往くから大丈夫？

元気なときはそれでもいいけど

だんだん近づいてきたら心配になってくるみたい

そうなってから慌てても知りませんよ

私はこれからどこへ行くの？って

迷子札を下げていても

誰も探しに行かんよ宇宙まで

さあさあ元気なうちに

はっきりさせよう

頭も足も元気なうちに

お浄土往き間違いなしとなるように

　　　本願成就

自分が救われたか救われていないか

腹が立たなくなることではない

腹は立つ

死ぬまで立つ

腹の立つ自分の外に

本当の私が誕生する

腹の立つ自分はお客さん

本当の自分は南無阿弥陀仏

　　　好きな言葉

好きな言葉は絶対界

絶対界は浄土のこと

絶対界だから

善い悪いが無い

上手下手も無い

役に立つ立たないが無い

面白い面白くないも無い

この世の価値が消えて

すべてのものが絶対の価値を持つ世界

すべてのものが輝く世界

無色透明の世界

死なない世界

永遠の世界

あこがれを持って進もう

　　　破闇満願

仏さまの願いが届き

迷いの自分が消滅する

仏さまの願い

はるか昔から願いつづけてくださっていた

なかなか気づかない

まったく気づかない

そんなこととは

知らなかった

知らなかった

不思議な因縁で

このたび初めて

知らされた

そんなこととは

はあーーーーーッ

口が開いて言葉も出ない

お浄土って

お浄土って

本当にあるのだ

あったのだ

お念仏は称えていたけれど

まさかそういうこととは

驚くばかり

あまりの世界に

驚くばかり

これまでの罪の数々

そんなことは吹っ飛ぶほどの

大きな大きな世界です

なむあみだぶつ

なむあみだぶつ

なむあみだぶつ

みんなにも早く気づいてほしい